

青龍楽校（水辺の楽校）ニュース

No. 108（2008.6）発行：鬼怒川水辺の楽校運営委員会



6月15日（日） 鬼怒フラワーライン「さつまいも定植大会」

花畑のポピーが刈り取られた場所には、マルチ（黒いビニール）がはられ、6月15日（日）鬼怒フラワーラインで花万ジュニアスタッフや青龍楽校少年団を含む参加者約150名で「さつまいも定植大会」が行われました。花と1万人の会の副会長さんから、さつまいもの植え方等の説明を聞いて、竹の棒でマルチに穴を開けたところに、さつまいもの苗（ベニアズマ・ムラサキマサリ）を植えました。マルチをはることで土の温度を高くして、雑草がはえないようにしているのです。いろいろ工夫しているんだね。



花と1万人の会のお兄さんと一緒に、さつまいもの苗を植える場所へ竹の棒で穴をあけたよ！穴と穴の間は、穴をあける棒の長さと同じにすると、ちょうどいいだって。苗は穴にまっすぐ入れると、ぶらさがるように丸いもができて、ななめに入れると細長いもができるんだって教えてもらったよ。それから、さつまいもの苗を植えてから110日で収穫すると食べごろでおいしいだって。大きくなりすぎてもダメなんだね。



さつまいもの定植の後は8月のEポート大会に向けて、今年の夏も花畑に黄色い花を咲かせようと、みんなでひまわりの種をまきました。Eポート大会の参加者をかわいいひまわりで迎えるのが楽しみ。

